

平成 27 年度第 2 回  
播磨高原広域事務組合総合教育会議会議録

開会日時	平成 27 年 11 月 26 日 (木) 午前 9 時 50 分
招集場所	播磨科学公園都市まちづくり事務所 会議室
出席者	管理者 栗原 一 副管理者 遠山 寛 教育委員長 山本善治朗 教育委員 矢木隆一郎、湯本浩一、大澤直子 教育長 中本敏郎
職務のため出席した者の職氏名	事務局長 家氏孝幸 副課長 林 一志 主 査 壽賀弥生
議 事 日 程	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開 会</li> <li>2 管理者あいさつ</li> <li>3 教育委員長あいさつ</li> <li>4 協議事項           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)平成 28 年度の取組について</li> <li>(2)施設長寿命化対策について</li> <li>(3)その他</li> </ol> </li> <li>5 副管理者あいさつ</li> <li>6 閉 会</li> </ol>

(会議の概要)

(午前9時50分開会)

事務局長 定刻前ではございますが、皆様お揃いですので、播磨高原広域事務組合第2回総合教育会議を開催いたします。まず開会にあたりまして栗原管理者からご挨拶をいただきます。

管理者 おはようございます。平成27年度第2回総合教育会議の開会にあたりお集まりいただきまして感謝申し上げます。前回の総合教育会議は8月31日に開催させていただいて、総合教育会議の設置要綱でありますとか基本的な運営方針等ご論議いただきました。本日は第2回目となりますが、来年度の事業を計画するにあたりまして、各委員の皆様方のご意見を頂戴し、結果として新年度の事業の取組に反映させていただきたいということで、是非ともご意見をいただきたいと思っております。ご案内のとおり我々と委員の皆様とお互いに、議論を尽くしていただいてそれぞれがしっかりと役割を果たしていくそして、播磨高原の教育行政の充実させることはもちろんですけれども、子どもたちの健やかな成長を願って、教育環境を少しでも改善していく努力を積み重ねていくことが我々の使命でありますので、よろしくお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございます。

事務局長 ありがとうございます。続きまして、委員長、ご挨拶をお願いします。

委員長 管理者、副管理者には、平素より播磨高原の教育につきまして、いろいろとご支援賜り厚くお礼申し上げます。また教育委員の皆様には定例会に引き続きまして宜しくお願い致します。本日の協議事項は、平成28年度の取組について、そして施設長寿命化対策についてであります。平成28年度予算に向けていい機会でございますので遠慮なくご発言いただき、現場の声が反映された予算となりますよう、よろしくお願い致します。今後ますます播磨高原の教育施策が展開されることを願ひましてご挨拶とさせていただきます。

事務局長 続きまして、次第により協議事項に入りますが、ここからは会議の議長を管理者にお願いしたいと思います。管理者、よろしく申し上げます。

管理者 それでは、議長を務めさせていただきます。よろしく申し上げます。まず、会議の公開又は非公開につきまして、皆様にお諮りしたいと思います。播磨高原広域事務組合総合教育会議設置要綱第6条に基づき、本会は個人の秘密を保つため、必要があるとき、会議の公正が害されるおそれがあると認めるとき、又はその他公益上必要があると認める時以外は公開するものとなっています。

さらに前回の総合教育会議で決定されましたとおり、播磨高原広域事務組合教育委員会会議規則に準じた形で行うことといたします。本日の協議事項につきましては、平成28年度の取組について及び施設長寿命化対策についてでございます。設置要綱に定める非公開とする事柄には該当せず、公開とすることが適切であると思われまます。これに賛成の方は挙手をお願いいたします。

< 挙手 >

ありがとうございます。全員賛成でございますので公開と決定いたします。それでは、次第に基づき、協議事項に入ります。まず(1)平成28年度の取組について、事務局から説明をお願いします。

副課長

平成28年度の取組について説明いたします。1番図書備品の充実につきまして、第1回の総合教育会議におきまして委員さんより図書備品の状況についてのご提言がございました。現在不足している小学校700冊、中学校1700冊を補うため、平成28年度予算は増額要求する予定と考えております。続きまして、2番放課後見守りボランティアについて、現在播磨高原東小学校において、一斉下校日を除く低学年が早く下校する日に、高学年が下校するまでの約1時間程度、地域ボランティアに空き教室で勉強を見てもらっています。光都学園の児童が大部分ですが、コーディネーターである小学校保護者OBがボランティアの日程調整をし、シフトを作成されています。来年度プリント代や用紙等消耗品の支援が出来ればと考えています。続きまして、3番学力向上については、中学校の取組として職員研修により正答率の低い問題についての検討とそれをうけての授業改善ということで、教科ごとの学力調査分析を行っています。中学校においては国語A、国語B、数学A、数学B、理科いずれの科目においても平均正答率は全国平均より10%以上高い状況にあります。生徒の生活や心理的状況の分析によりますと、中学生の基本的な生活習慣において、7割以上の生徒が同じ時刻に就寝し、同じ時刻に起床し、朝食を毎日とっています。また、7割以上の生徒がスマホや携帯電話を持っていません。保護者につきましては、9割以上が授業参観や運動会などの行事に参加しています。一方、生徒の半数が将来の夢や目標を持っていない、自分に良いところがないと答えています。学校の今後の取組としては、生徒一人一人の持ち味をいかせるように学校行事等で配慮するとか、取り柄をいかせるような活躍の場を意識した適材適所の役割を与えるとか、賛辞を送るなど肯定的評価を行うよう心がけていくということです。続きまして、4番本物の教育について、中学校で取り組まれております。鍛造技術、刀鍛冶ということで、800年続く明珍家の鉄の精錬技術や本物の刀鍛冶の指導を受け、ものづくりについて体験しました。飛び散る火花や自在に鉄の形を変えていく匠の技に見入りました。実際に鍛錬もさせていただき、貴重な体験となりました。次に理科の出前授業ということで、ロボット・機械制御について明石高専の先生に視聴覚教材を使って説明いただき、わかりやすく学びました。車いす型ロボットの実物を見

せていただいたり、実際に操縦させていただいたり、興味深い授業でした。次に、姫路西高の先生により、台車を使って等加速度運動を調べる実験が行われました。摩擦や空気抵抗を少なくするように工夫しながら実験を行いました。実験のデータの記録テープを見ると、単位時間当たりの移動距離がほぼ一定となり、よい実験データが得られました。続きまして、5番光都地区支援連携懇談会について、校種間連携の取り組みを行っています。中学校長が中心となり、小中学校、光都学園、西はりま特別支援学校高等部、播磨特別支援学校、県学校支援チームでの情報共有や、成長や課題についての意見交流を行っています。特別な支援を必要とする児童生徒のため、細やかな配慮や個別の支援シート等の作成を予定しております。教育と福祉をつなぎ、義務教育後5年の追跡指導、声かけなど卒業後のセーフティネットの確保に努めていく計画でございます。最後に、6番小中連携事業としまして、体育祭での交流があります。小学校の運動会には中学生がボランティアで競技の進行の手助けをしていました。中学校の運動会には小学生が参加し、来場者全員参加の綱引きや玉入れに参加していました。中学校の学習発表会では、音楽会については小学校全校児童が参加し、光都論文の発表には6年生のみですが参加しております。また、英語検定、漢字検定、数学検定について、小中合同で実施しております。教職員研修としては、播磨西教育事務所スーパーティチャーの先生による参加型全体研修「自校の子どもの課題と授業づくりのポイント」を小中合同で実施しております。

管理者 事務局の説明が終わりました。ほとんどが継続事業ではございますが、それぞれの事業につきまして、何かご意見がございましたら、ご発言をお願いします。」

教育長 図書備品の充実ということで、3番の学力向上でも報告がありましたように、国語におきましても基礎学力の高さを感じます。その要因の1つに、学校として読書の時間を朝と昼にもうけておりまして、いつも図書室を開放し、いつでも子どもたちが図書を見れるようにしておると聞いております。図書の充実で一層学力の向上がはかれるかと思えます。

管理者 他校と蔵書数、蔵書率等を比較したことはありますか。

事務局長 ありませんが、指針として示されている部分での比較で、過不足の数字を出しております。

委員 提案させていただいた元ですが、小学校を訪問の際、各教室の本棚の本の傷みが目に付いたので、蔵書自体が少ないというのは把握してなかったのですが、新しい本が良いというわけでもなく、絵本でも古典といわれるものの中にも優れたものがありまして、読みきかせでもそちらを中心に行っているぐらいです。学校からも希望のリストも出ているようですし、ありがたいと思えます。

- 管理者 次に放課後見守りボランティアについてですが、光都学園の児童が多いのでしょうか。学園の子どもたちは、学園に帰るとみていただけるのではないのでしょうか。
- 副課長 下校については学園の先生が付き添われておりまして、高学年と低学年と時間をあわせて帰られております。そのため、学園の職員もボランティアに入られています。
- 委 員 ボランティアの数は何名ほどでしょうか。
- 副課長 7、8名と聞いております。
- 管理者 何か意見ございませんか。それでは、次に学力向上についてですが、予算が0円ということですが、どういうことでしょうか。
- 副課長 一般の教育費として、学校に配分されている教育振興費に消耗品等予算措置されておりますので、そちらの方で賄っておる状況です。
- 管理者 学力が高いということですが、調査の結果としてもありましたが、早寝早起き朝ごはんというような取組をされておるのですか。よい結果ですので是非発信をしていただきたいと思います。
- 管理者 次に本物の教育についてですが、何かご意見ございましたらお願いします。講師さんは、先生方が調整されて来ていただいているのでしょうか。
- 事務局長 校長と主幹教諭が調整しておりまして、26年度は佐用町の刀鍛冶さんに来ていただいたり、明石高専と姫路西高校の先生については恒例となっております。違ったところでは、姫路城の改修をされた宮大工の棟梁から木工について学んだり、小規模校ならではの取組ということで実践されております。たつの市や上郡町にも取り入れてもらってはということで、情報発信という部分もあって提案をさせていただいております。
- 副管理者 事前に情報を流していただいたら、生徒もバスで上がってくることができると思いますので、お願いします。
- 委 員 教育にとって、お金をかけることが大事なのかどうかはわかりませんが、かけないよりはかけた方が良くと思います。かけるものによって変わってくるのだろうとは思いますが、特に近年ノーベル賞を日本人がたくさん受けられています。日本はもっと教育に力を入れていかなければいけないかあと強く思うようになりました。そういうことで市長町長と二人いらっしゃいますが、土木建

築福祉等いろいろ使わなければならないとは思いますが、これから教育にぜひもっと力を入れていただきたいと思ひます。

管理者 おっしゃる通りです。力を入れてまいります。次に小中連携事業について、これからも推進していただきたいと思ひますが、これにつきまして、何かございませんか。

副管理者 問題になるのは施設の過剰だと思います。今のままで施設を維持するのは大変です。

管理者 レベルがあがれば、人も増えるでしょうし、いろいろと発信をしていただければと思ひます。小規模が特色になっておりますので、小中連携いただいて、公教育の特色を出していくことが必要ではないかと思ひます。

管理者 それでは28年度事業について他にご意見ございませんか。それではこの方向ですすませていただきます。

管理者 引き続きまして、次の協議事項に移ります。(2)施設長寿命化対策について、事務局から説明をお願いします。

副課長 施設長寿命化対策について、説明いたします。当事務組合教育委員会の教育大綱の基本目標の8番目の柱にあります学校施設、教育環境の充実という観点から施設の長寿命化対策に対する検討が必要となつてきております。播磨高原広域事務組合においては小学校が平成7年4月に開校し20年が経過いたしました。中学校につきましては平成9年4月に開校し、19年が経過いたしました。校舎はコンクリートではありますが、冬の寒さが厳しく、霜が降り、雪が降り、また春、秋には昼夜の寒暖の差もあり、校舎の老朽化が著しい状況にあると思われまふ。体育館については小中どちらも雨漏りをしておる状況です。体育館につきましては、設計者の安藤忠雄事務所の意向もあり、また県企業庁とも協議していかねければなりません。修繕するに当たり実施設計委託が出来ればと考えております。続きまして、プールの状況です。小学校においては10月末より漏水しており、現在水位が10センチ程になっており、原因を特定するため、調査中でございます。また、圧力計不良取替、ろ材入替、コントロールユニット改善等がございます。中学校についても同様に取替え等必要となつてきております。続いて、中学校武道場ですが全体の40%近い蛍光灯に不灯やチラつきが出てきている状況です。続きまして、来年度においては3年に1回、特殊建築物定期報告を提出しなければならない年度でございます。これにつきましては、たつの市、上郡町ともに業務を委託してございます。事務組合でも同様に業務委託をしたく考えております。このように、施設におきましては20年が経過したことにより、問題が出てきている状況であります。

管理者 事務局の説明が終わりました。施設について4点ありますが、まず体育館の雨漏りについて、原因を調査するのでしょうか。

副課長 たつの市都市計画課との立会いでは、いったん吸い込めるような素材のものが全体にかましてあり、実際の破損箇所がわかり辛い状況であります。

事務局長 施設的には過大であり、持て余すような施設がある中で、老朽化が進んでおりました、現状として列記させていただいたようなことです。例えば体育館では、吹き降りで雨漏りをしておりまして、体育館の構造上他の学校でも雨漏りはあるようで、財政的なこともありますので、優先順位等も踏まえてご論議いただければと思っております。屋根の部分がステンレスの板で溶接したもので、実際穴が開いたところからもれて、飽和状態になって落ちてくるような所見をいただいておりますので、大規模な改修になろうかと思えます。プールにつきましては、現実的に使えない状態になっておりますので、議題としてあげさせていただいております。4番の武道場の照明につきましては明らかに老朽化でありまして、そろそろ考えなくてはいけない状態です。そこそこ金額のはるものをあげておりますが、その他、教育環境の整備という点ではタブレットの導入等あると思っておりますので、含めてご発言いただければと思えます。

管理者 照明はLEDにするのですか。

事務局長 本年度、予算の範囲内で一部分だけLED化して光がなじむかどうか、テスト的に導入をしております。

管理者 それでは、ご意見ございましたらよろしく申し上げます。これらにつきまして検討していただくということでもよろしいでしょうか。

教育長 小学校のプールは10センチしかたまらないのでしょうか。

副課長 10センチしかたまらず、現在原因を調査中です。

教育長 中学校の故障はどのようなもののでしょうか。

事務局長 中学校は濾過機の調子が悪かったため、小学校のプールを1週間程度かりております。その後、小学校の水漏れがおきたということで、現在は小中どちらも使えなくなっております。中学校の濾過機の修理につきましても、新年度予算がとれるようであればさせていただくという形で思っております。

管理者 小学校と中学校のプールの規格は違うのでしょうか。

事務局長 違います。中学校の方が深いので、優先順位を付けるとすれば、小学校のプールをいかせば中学生が使えますが、逆はあぶないなと思っております。

委員 将来的には少子高齢化で、子どもの数が減少する可能性が想定されるのですが事業の中身も、費用対効果とか運用の部分でいいますと、小中一貫の運用を将来的にはせざるを得ないときが来るでしょう。体育館1つにしても、企業で言いますと福利厚生維持管理は難しい中で、例えばリハビリセンターを利用するとか。学校としては小学校と中学校が体育館1つでやっていくとか。プールは規格が違いますので、小学校と中学校で1つにするのは教育的な配慮として難しいかもしれませんが、優先順位を付けていくしかないかと思えます。どうしても施設は痛むし修理は必要であります、負担が増えていきますので、将来的な展望も踏まえて管理していくのも我々の1つの観点かと思えます。限られた中で予算もつけていっていただかないとならないわけですから。

管理者 それでは施設整備につきまして、緊急を要するものもあります。また中長期的に検討もしくは原因調査をしっかりしていくものもあります。子どもたちが減っている状況で両施設をこのままにしておくのか、ひと工夫する余地があるのか、県の施策の展開からどのように変化するかわかりませんので、当面は急ぐべきことは急ぐということでやらせていただくということによろしいでしょうか。他に何かご意見ございませんでしょうか。

委員長 施設長寿命化対策については、文科省で校舎の耐久性や機能性を高めるために方策を打ち出しており、今ある校舎をできるだけ長く使う方向になっておりますので、そのように思っておりましたが、修理ばかりのようですが。

事務局長 学校施設の長寿命化改修の手引というものが文科省から出ておりますが、制約がいろいろありまして、補助事業ですので、例えば大規模改修となりますと最低単価が7千万円以上の工事でないと補助対象にならないとか、いろいろな定義があります。長寿命化と表現させていただきましたが、補修以上長寿命化以下の部分かもしれません。

管理者 それでは施設の長寿命化につきましても、児童生徒の安全を第一に優先し、緊急性を考慮し、検討をさせていただきます。

最後になりましたがその他協議事項等ございませんか。特にございませんか。それでは、ここから進行を事務局にお願いします。

事務局長 栗原管理者ありがとうございました。それでは、閉会にあたりまして、副管理者からあいさつをお願いしたいと思います。



副管理者　本日はお忙しい中を長時間にわたりご論議をいただきましてありがとうございます。管理者も言われたとおり、子どものための教育をしていきたいと考えておりますので、今後も上郡町、たつの市も含め播磨高原の良好で安心した教育環境の確保にご支援をいただきますようお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

事務局長　副管理者ありがとうございました。以上をもちまして、第2回総合教育会議を閉会いたします。慎重なご協議ありがとうございました。なお、来年度第1回総合教育会議についてはおおむね5月頃を予定しておりますが、改めて日程調整をさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

(午前11時20分終了)